〇登園届が必要な感染症

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 感染症名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
| 麻しん(はしか) | 発症１日前から発しん出現後の４日後まで | 解熱後３日を経過していること |
| インフルエンザ | 症状がある期間（発症前24時間から発病後３日程度までが最も感染力が強い） | 発症した後５日経過し、かつ解熱した後３日経過していること |
| 風しん | 発しん出現の前７日から後７日間くらい | 発しんが消失していること |
| 水痘(水ぼうそう） | 発しん出現１～２日前から痂皮（かさぶた）形成まで | すべての発しんが痂皮（かさぶた）化してから |
| 流行性耳下腺炎  (おたふくかぜ) | 発症３日前から耳下腺腫脹後４日 | 耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから５日経過し、かつ全身状態が良好になっていること |
| 結核 |  | 医師により感染の恐れがないと認められていること |
| 咽頭結膜熱(プール熱、アデノウイルス) | 発熱、充血等の症状が出現した数日間 | 発熱、充血等の主な症状が消失した後２日経過していること |
| 流行性角結膜炎 | 充血、目やに等症状が出現した数日間 | 結膜炎の症状が消失していること |
| 百日咳 | 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後３週間を経過するまで | 特有の咳が消失していること、または適正な抗菌性物質製剤による５　日間の治療が終了していること |
| 腸管出血性大腸菌感染症  (Ｏ157、Ｏ26、Ｏ111等) |  | 医師により感染の恐れがないと認められていること |
| 急性出血性結膜炎及び侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎） |  | 医師により感染の恐れがないと認められていること |
| 溶連菌感染症 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後１日間 | 抗菌薬内服後24～48時間経過していること |
| マイコプラズマ肺炎 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間 | 発熱や激しい咳が治まっていること |
| 手足口病 | 手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間 | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| 伝染性紅斑(りんご病) | 発しん出現前の１週間 | 全身状態が良いこと |
| ウイルス性胃腸炎・感染性胃腸炎  (ノロ、ロタ、アデノウイルス等) | 症状のある間と、症状消失後１週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要） | 嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること |
| ヘルパンギーナ | 急性期の数日間（便の中に１か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要） | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| ＲＳウイルス感染症 | 呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと |
| 帯状疱しん | 水疱を形成している間 | すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること |
| 突発性発しん |  | 解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと |
| 新型コロナウイルス感染症 | 発症後５日間 | 発症した後５日を経過し、かつ症状が軽快した後１日を経過すること  ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を０日目として、５日を経過すること |